

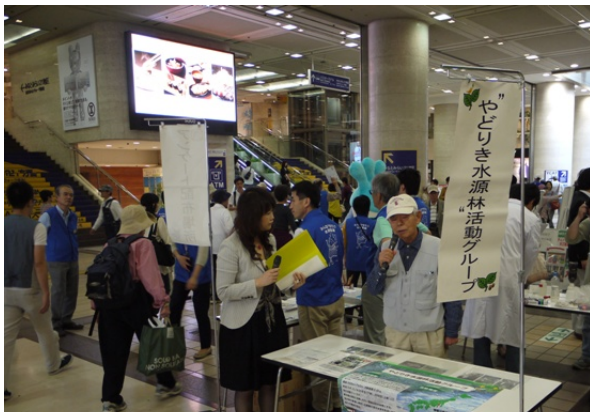
平成 25 年度市民事業交流会 活動結果報告

平成 25 年 10 月 14 日に開催した「市民事業交流会」の内容は次のとおりでした。

名 称	市民事業交流会（「もり・みずカフェ —水源環境保全・再生に取り組む市民団体活動展—」）
委員出席者	増田 清美、萩原 なつ子、服部 俊明(市民事業専門委員会) 足立 功、久保 重明、井伊 秀博、坂井 マスミ、高橋 克矢(県民フォーラムチーム・コミュニケーションチーム)
開催日時	平成 25 年 10 月 14 日（月・祝） 10:30～16:30
開催場所	新都市プラザ（そごう横浜店地下 2 階正面入口前）
出 展 者	もり・みず市民事業支援補助金補助事業者 15 団体・39 名 （欠席 8 団体）
内 容	<p>1 開会あいさつ 増田委員長 昨年度より、県民に開放した「市民団体活動展」を開催している。今年度は新たな試みとして、団体の皆様との意見交換会を開催する。午後からは、来場者そして新都市プラザを行き交う方々へ向けて、皆様の日ごろ活動について発表していただく。 ぜひこの機会に、団体間の交流を深めるとともに、県民に対して積極的に団体活動の PR を行っていたきたい。</p> <p>2 市民団体活動展（10:30～16:30） （1）各補助団体による出展 ①団体活動紹介ポスター、写真の展示 ②チェーンソーアート作品、間伐材製品等の展示 ③水質調査結果・調査地点写真の展示 ④水質調査の体験 ⑤水生昆虫などの観察 ⑥竹製品のプレゼント など</p> <p>（2）県・県民会議による出展 ①水源環境保全・再生施策紹介パネルの展示 ②補助団体を紹介した冊子の作成・配布 ③着ぐるみ「しずくちゃん」及び「かにやお」（NPO 協働推進課）による演出 ④各種広報資料の配布</p> <p>3 ワールド・カフェ方式による意見交換会（11:00～12:30） ①第 1 ラウンド(20 分) 問い「現在実施している活動を、より発展させていくためには、何が必要か」 ②席替え(テーブルに 1 人残して) ③第 2 ラウンド (20 分) 問い「それらを実現するため・実行するためのアイデア」 ④席替え(第 1 ラウンドのテーブルに戻る) ⑤第 3 ラウンド(20 分) 第 2 ラウンドと同じ問いで意見交換</p> <p>4 閉会あいさつ 増田委員長 本日は 529 名のアンケートを収集できた。アンケートの結果や、県民・参加団体の皆様からいただいたご意見を元に、平成 26 年度以降も市民事業交流会を開催したいと考える。今後も、市民団体の皆さんの取組が拡大・拡充し、水源環境保全・再生の取組が進んでいくことを期待する。</p>



<来場者への活動紹介>



<インタビュー形式による活動紹介>



<意見交換会の様子
(そごう横浜店9階 ミーティングルームにて)>



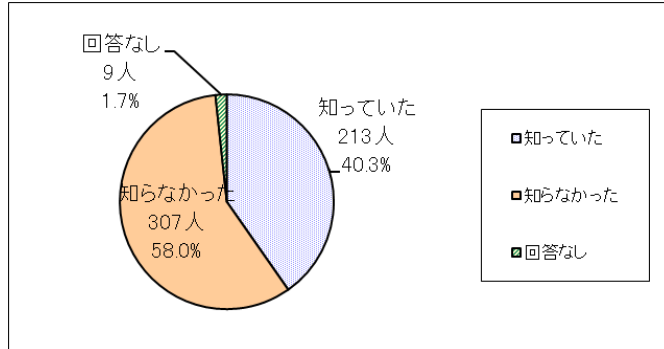
<「しずくちゃん」と「かにゃお」による来場者との
ふれあい>

平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果（県民）

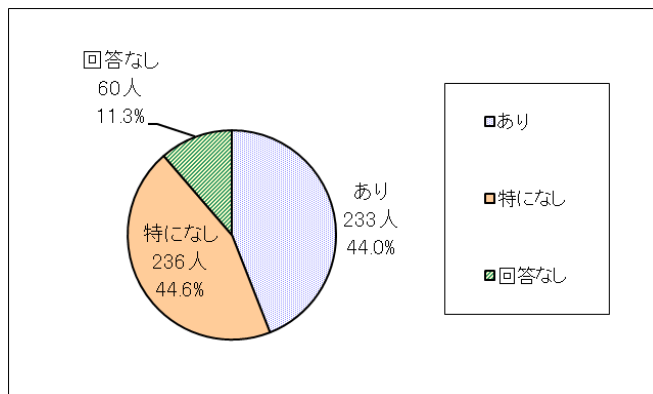
今後の取組の参考とするため、交流会にご来場いただいた県民の方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…529枚

Q 1 市民団体が水源環境保全・再生の活動を実施している事を知っていましたか。



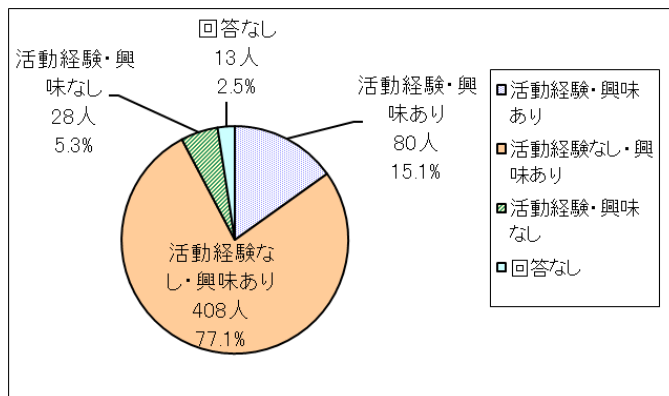
Q 2 出展内容が特に良かったという団体はありますか。



特に良かった団体(上位8団体まで)

団体名	票
NPO 法人自遊クラブ	31
NPO 法人丹沢森の仲間たち	20
NPO 法人かながわ森林インストラクターの会	18
NPO 法人日本の竹ファンクラブ	18
丹沢森林環境研究所	17
NPO 法人海の森・山の森事務局	17
海老名里山づくりボランティア山仕事の会	15
中津川仙台下クラブ	15

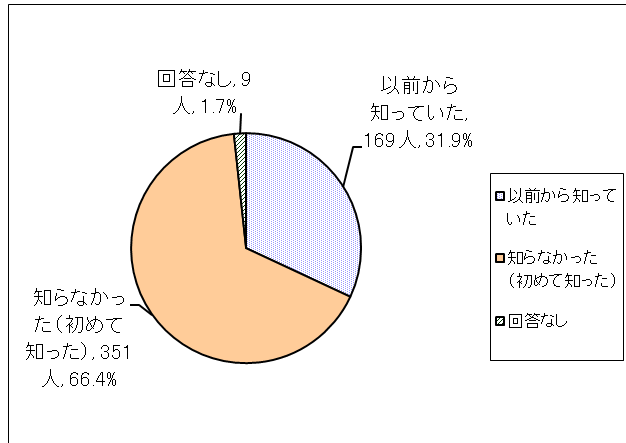
Q 3 水源環境保全のための市民活動を行っていますか（過去の経験を含む）。
また、こうした活動に興味がありますか。



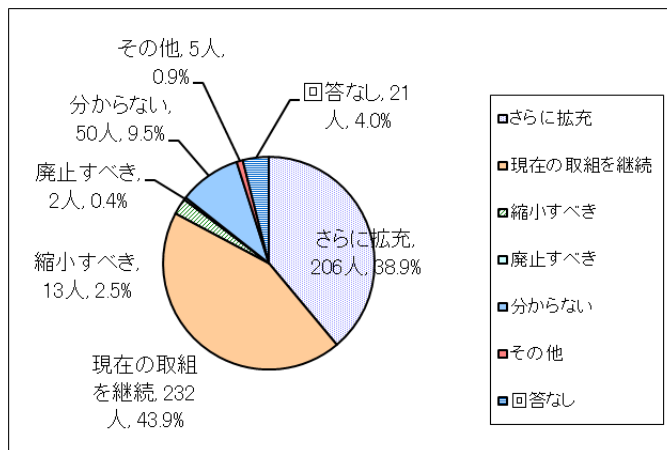
具体的な活動内容(「経験あり」回答者)

- ・川のゴミ拾いをしていた。
- ・県民参加の下刈、植樹、間伐等。

Q 4 県では、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源に、水源環境保全・再生のための取組を行っています。このことについて、ご存知でしたか。



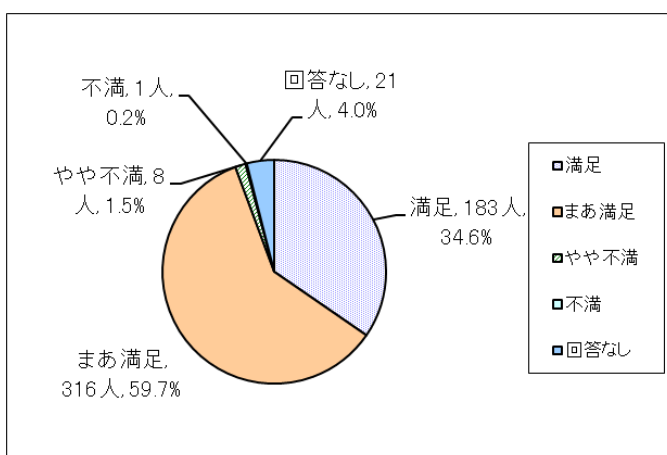
Q 5 「水源環境保全税」を活用した水源環境保全・再生事業は、今後どうしていきべきだと思いますか。



「その他」回答者の主な意見

- ・緑地の購入。
- ・今現在の取組が分からないので意見が言えないのですが、縮小はすべきではないと思う。
- ・ボランティア団体の活動をもっと県がPRして欲しい。

Q 6 本日のイベントはいかがでしたか



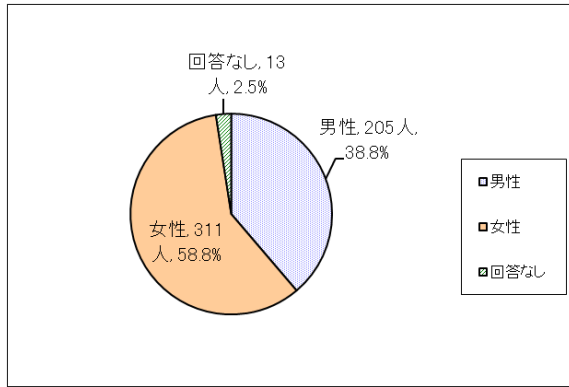
「満足できた点」の主な意見

- ・NPO法人の皆様の熱心な取組の説明を聞いて、改めて関心を持つことができました。
- ・水源環境を守る為に多くの団体が活動している事を知ることができた。
- ・都市部で活動している団体と、水源地域のNPOと連帯出来る可能性が見えてきた。
- ・色々な人達が森や水を守り、活動している事を知り、いい機会だった。
- ・楽しみながら交流出来て、役立てる事は良いなどと思った。

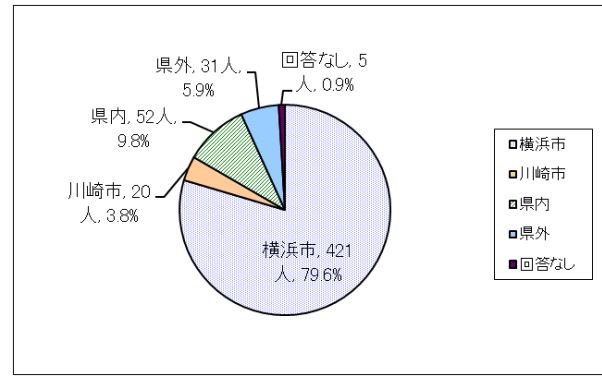
「不満だった点」の主な回答

- ・場所が狭かった。
- ・ビデオやメディアをもっと活用できればリアリティが沸くと思う。
- ・現実的に何を活動しているのか分からない団体がある。
- ・もう少し子供が参加できるイベントがあっても良かったと思う。

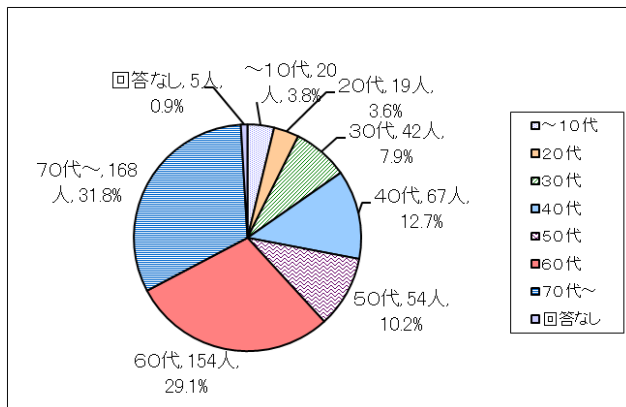
Q 7 性別



Q 8 お住まい



Q 9 年齢

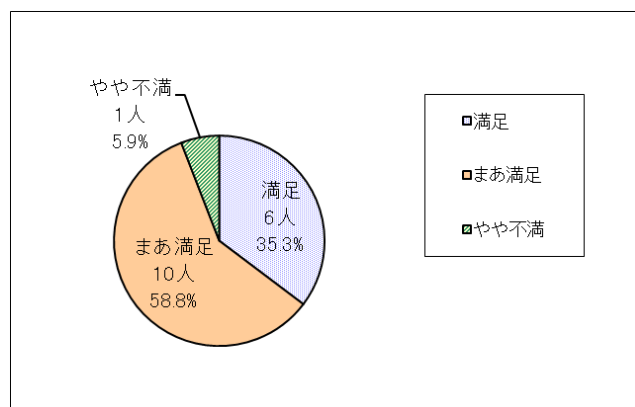


平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果(出展団体)

今後の取組の参考とするため、交流会に参加いただいた市民団体にアンケートをお願いし、ご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…17枚 (市民事業交流会出展団体：15枚 意見交換会のみ参加団体：2枚)

Q1 本日の交流会(市民団体活動展)はいかがでしたか。



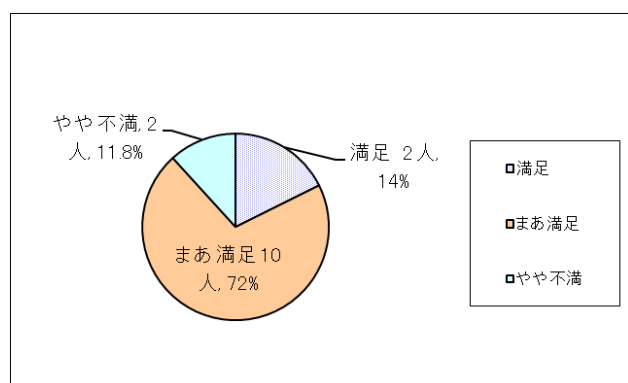
満足できた点の主な意見

- ・水を大切と考えている県民との出会いの場になり、会話を通じて啓発できた。
- ・展示パネルの他に説明用の実物、実演が出来てアピール出来た。
- ・参加された各団体の多面的な熱い活動を知る切り口となった事。
- ・インタビュー。
- ・ブースに立ち寄ってくださった方々と話すことができ、水源環境に興味を持っている人がたくさんいることが分かった。

不満だった点の主な意見

- ・竹扱い団体の隣接があり、配置の再考。
- ・団体が何をされているのかを知る時間が欲しかった。
- ・イーゼル等を貸出して欲しい。
- ・開催時間が長い。
- ・事前説明会を開き、万全期するべき。
- ・インタビューの趣旨は良かったが、ほとんどの人が聞いていなかった。
- ・立ちっぱなしだったので、疲れた。イスがあった方がよい。

Q2 本日の交流会(意見交換会)はいかがでしたか。



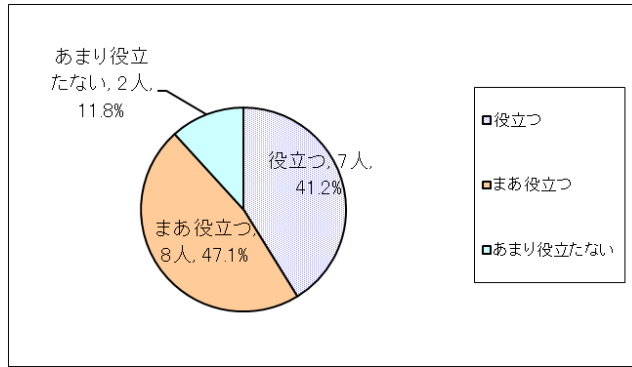
満足できた点の主な意見

- ・ワールドカフェを実践できたこと。これからワークショップ時にこの手法を取り入れます。
- ・自分たちの抱えている問題点を知ることができた。
- ・他の団体と話し合えた事と、改善要望の話し合いができてよかった。
- ・斬新な試みの中で他団体との意見交換ができた。
- ・今後の活動に生かせそうなアイデアをもらうことができた。

不満だった点の主な意見

- ・それぞれの団体がどんな事をやり、問題点として何があり、どう対処しているかなど知りたかった。
- ・目的がなんであるか不明確である。
- ・テーマとは関係ない雑談が多かった。

Q3 本日の交流会は今後の活動に役立ちますか。



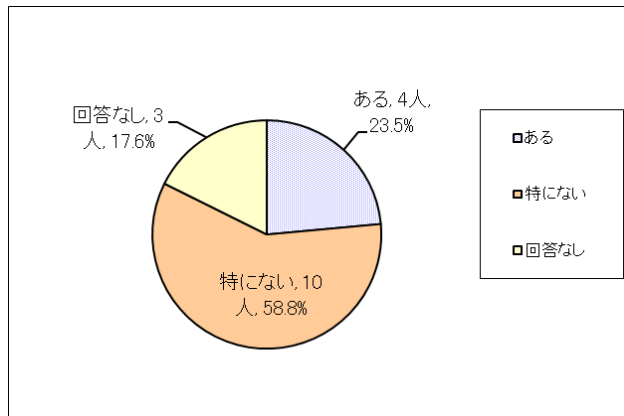
良かった点の主な意見

- ・資金面では団体共通事項で、参考になる。他の団体の情報が聞け、自分の団体運営の参考になった。
- ・ブースに展示した物の反響が分かり、今後の展開の参考になった。
- ・多岐の分野で実践活動に取り組む団体間の交流の場ができた事。
- ・急展開は見込めないかもしれないが、少しずつ認知され、変化が出てくると思う。

悪かった点の主な意見

- ・技術面の団体との交流がなかったので、技術面を重視した組み方も必要では。
- ・立ち話での対応となり10時～16時30分の長時間は疲れる、椅子が欲しい。

Q4 出展内容が特に良かった団体はありますか。



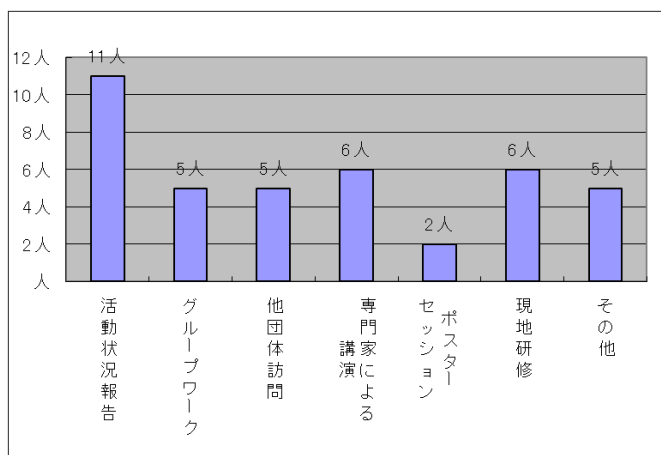
良かった団体と主な意見

- ・NPO法人神奈川県環境学習リーダー会
→きれいな川に住む小さな水性生物を実体顕微鏡で実際に見て頂いていた事。
- ・NPO法人日本の竹ファンクラブ
→説明資料もまとまっていて、展示品もあり良かった。
- ・NPO法人海の森・山の森事務局
→パネルでのアピールが印象的であった。
- ・丹沢森林環境研究所
→水質調査を使い分かり易く実演できた。

その他意見

多様なジャンルの活動団体が出展している事から、良否の判断は意味がない。

Q5 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか(複数回答可)



その他で寄せられた意見

- ・今回のようなワールドカフェ。
- ・県側の意見なども聞きたい。
- ・もり・みずカフェ開催の事前協議会と併せて交流会を行う。
- ・団体全体での意見交換会。
- ・神奈川県の水源環境保全・再生にかかわる市民活動のあり方のグループワーク。

Q6 その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

寄せられた主な意見

- ・来場者は高齢者が多かった。若い方の来場する場所の選定が必要。
- ・会場は良い場所でしたが、各団体の占有面積が狭く、PR掲示物が出せなかった。
- ・学校への出前授業でPR活動を行って欲しい。
- ・行きかう人を誘い込む事の難しさを痛感しています。定年後の男子が次の生きがいに自然との共生を含めて、活動をする機会作りをしたいと考えている。
- ・活動展に関しては、全体的な統一が見られなかった。また、税金によって県から補助金を頂いている団体の集まりであることが、一般の方々に分かりにくかった。補助金申請の際プレゼンの様なものが、一般の方たちに向けて行われるような場があっても良いのではないかと。
- ・意見交換会に関しては、横の連携と築ける場が欲しかった。団体がどの様な手法で活動しているのか、またどのような問題を抱えて、どの様に対処しているか等を、具体的に知ることのできる場も欲しかった。時間を十分に取った意見交換会の開催を希望します。
- ・農繁期を避けて頂きたかった。活動が最も忙しい時期で、人員不足になってしまった。
- ・インタビューは、簡単な舞台などを作って行った方が良かった。誰が何処で話をしているのか分からなかった。
- ・各団体発表者用に、椅子があると良かった。
- ・各団体のブースとの境目が曖昧で、他の団体の事を聞かれる事もあった。何のイベントをやっているかアピールのアナウンスを流しても良かったのではないかと。
- ・展示方法に制約があり自己特色が出せなかった。事前調整を行い(各団体の展示方法の意向を聞き)、効果ある魅力ある展示方法を展開すべき。長時間立ちっぱなしで疲れたので、椅子を用意するか、休憩場所の確保が必要(休憩所でのコミュニケーションも必要)。
- ・団体活動紹介インタビューは、当事者しか聞いていないので、不要だと思う。
- ・意見交換会の充実をお願いします。他の団体の運営方法や、会費、会員増加対策、色々と工夫している事柄、困っていること等が話し合えるようにして欲しい。
- ・すぐ近くにスピーカーが設置されていた為、インタビューしている時は煩くて説明が出来なかった。一日中立っての説明だった為、休憩用のイスが欲しかった。
- ・多くの人達にブースに立ち寄ってもらい、活動を紹介する事が出来た。他の団体の出展内容をじっくり見られなかった。
- ・交流会は、今後も実施して欲しいが、開催時期、会場等について、関係団体間の意見集約の場をセットして欲しい。
- ・もう少し広い展示ブースを希望します。
- ・展示スペースが狭すぎる。荷物置き場や休憩所があった方が良い。
- ・アンケート回答者に配るものは、選択肢を無くして、森林に対する関心を惹くような物を用意してみてもどうか。